

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 4 (2022) 年 12 月号

編 集 武田 隆久
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
一般社団法人 日本病院会 教育部教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <https://jha-e.jp/>
受付時間 10:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月 1 日



いつまでも学ぶ姿勢を

末永 裕之
日本診療情報管理学会 理事長
小牧市病院事業管理者

感染力の極めて強いオミクロン株 BA.5 による新型コロナウイルス感染症の第 7 波は 10 月に入り漸く小さくなってきましたが、昨年夏の第 5 波のように下がりきっていません。また、ドイツ、フランス等で BA.5 が主流の再拡大がみられており、日本でも第 8 波が来ることを想定して、気分が緩み過ぎないように注意したいものです。

そんななか 9 月 8、9 日に予定されていた第 48 回診療情報管理学会学術大会は対面式の開催を断念して完全 Web、10 月 14 日~11 月 17 日までのオンライン配信となりました。

堀見大会長の「近づく 2025 年問題：変化する医療環境のなかの診療情報管理」、私の理事長講演「診療情報管理士は“情報”に敏感であれ」、岡山大学の渡邊教授による「いま医療機関に求められる変革的リーダーとは」、サイバー攻撃で大変な思いをされたつるぎ町立半田病院の事業管理者須藤先生による「サイバー攻撃による電子カルテ停止を経験して」、ささえあい医療人権センター山口理事長による「患者と医療者が協働する医療をめざして」、聖マリアンナ医科大学の川瀬先生による「わが国における ICHI 活用の可能性」の講演、特別企画の「WHO-FIC を知ろう」はじめシンポジウム、一般演題、学生セッションにいたるまでよく考えて計画されていたことに対し、大会長、高知医療センター、四国支部の関係者の皆様には感謝を申し上げます。

第 46 回学術大会は中止、第 47、48 回はオンライン配信となり、対面での会員の皆様との交流はできませんでしたが、オンライン配信のため繰り返して視聴できますし、時間帯が重なったセッションも視聴できることから、オンライン配信の学びの場としての有用性を再確認しました。

今回のコロナ禍にあって、また長期化しているウクライナ紛争で見られたフェイクニュース、プロパガンダを見るにつけ、正しい情報であるかも含めて“情報”をいかに判断して対応策を考えていくのかが問われるようになってきています。

医療・健康情報を主に扱う診療情報管理士の皆さんには常に“情報”に敏感であって頂きたいと思いますが、新しい知識・情報を取り入れることも必要です。

ICD-11 をはじめ新しい知識、知見を得るには、日本診療情報管理学会の学術大会、研修会、ブロック会議に参加して頂くことが有用です。

診療情報管理士の認定を受けられた方の学会への入会をお願いしたいと存じます。

